



平成20年10月10日

各位

会社名 株式会社 ゴ ト ー
代表者名 代表取締役社長 後藤 行 宏
(JASDAQ・コード 9817)
問合せ先 常務取締役管理本部長
土橋 文彦
電 話 055-923-5100

特別損失の発生および平成21年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年2月期(平成20年3月1日～平成21年2月28日)の中間期および通期におきまして下記のとおり特別損失が発生することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成20年4月15日付「平成20年2月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

当社は、平成19年2月期より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用し、会計処理を行ってまいりました。当期中間決算にあたり営業店舗および転貸店舗に係る収益力の低下により土地等に減損損失83百万円の発生が見込まれることとなり、また、店舗施設の除却費用として10百万円が発生、有価証券売却損が2百万円発生したことにより、特別損失として総額95百万円計上することとなりました。下期におきましても、上記同様の理由により減損損失約66百万円を見込んでおります。

2. 平成21年2月期中間業績予想数値の修正(平成20年3月1日～平成20年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
当初業績予想(A)	7,243	140	283	93
今回修正(B)	7,054	141	269	65
増減額(B-A)	△189	1	△14	△28
増減率%	△2.6%	0.7%	△4.9%	△30.1%
(ご参考) 前期実績	7,430	19	155	△18

3. 平成 20 年 2 月期業績予想数値の修正（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当初業績予想 (A)	14,641	231	510	208
今回修正 (B)	13,998	46	300	29
増減額 (B-A)	△643	△185	△210	△179
増減率 %	△4.3%	△80.0%	△41.1%	△86.0%
(ご参考) 前期実績	14,972	122	376	104

4. 修正の理由

(1) 中間業績について

売上高に関しましては、TSUTAYA 事業の会員向けのオンライン販促の強化によりレンタルは前年と同水準で推移しましたが、CD・DVD 販売店舗の見直しにより取扱店舗を減少させたことと、ゲームツタヤでの新品ゲームのタイトル不足と前年に大きく伸ばしたゲーム機本体が今期は反動で低調だったため、3,586 百万円（前年同期比 3.5% 減）となりました。

ブックオフ事業におきましては、前期に引き続き、販売・品揃えを強化した CD・DVD ソフトの販売が増加したことに加え、1 店舗出店したことで、売上高は 1,698 百万円（前年同期比 1.8% 増）となりました。

ゲーム事業に関しましては、新作ゲームのタイトル不足と前年に大きく売上を伸ばしたゲーム機本体が今期は反動で低調に推移したことにより、新品、中古ともに前年を下回り、売上高は 1,233 百万円（前年同期比 10.3% 減）となりました。また、ファッションその他事業では前期に 5 店舗閉店した影響もあり、売上高は 535 百万円（前年同期比 20.0% 減）となりました。

以上の結果、売上高に関しましては、当初予想を 2.6% 下回る 7,054 百万円（前年同期比 5.4% 減）となりました。

営業利益に関しましては、141 百万円（前年同期比 642.1% 増）とほぼ当初予想の結果となりましたが、経常利益につきましては、賃貸不動産物件が減少したことにより不動産賃貸収入等が減少したこともあり当初予想を 4.9% 下回る 269 百万円（前年同期比 73.5% 増）となりました。

中間純利益に関しましては、収益力の低下等の影響による減損損失 83 百万円を含む特別損失 95 百万円が発生したことにより当初予想より 30.1% 減少し、65 百万円となりました。

(2) 通期業績について

売上高に関しましては、下期において不採算店舗の閉鎖及び店舗改装が見込まれており当初予想より低調に推移するものと思われます。従いまして、売上高は減少し 13,998 百万円（前回予想比 4.3% 減）と予想しております。

営業利益に関しましては、新規出店及び店舗改装が新たに発生する見込みとなり、当初の見込み以上に費用発生の増加が予想され、当初見込額を下回る 46 百万円（前回

予想比 80.0%減) を予想しております。

また、営業外損益では上期実績額に対して大幅な変化は生じないものと思われ、当初予想額 127 百万円の収入を見込んでおりますが、経常利益につきましては営業利益の減少もあり、当初予想を 41.1%下回る 300 百万円を予想しております。

当期純利益に関しましては、上期の特別損失の状況を踏まえ、当期下期での減損損失の発生も見込まれ、結果、特別損失は 161 百万円で当期純利益は 29 百万円（前回予想比 86.0%減）を見込んでおります。

- ※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上